

日本共産党の藤木くにあきでございます。滝口市長は、「残された任期に全力をつくす」とされるとともに、来春おこなわれる市長選挙への出馬もあわせて検討されているようですが、そのためには、財政難のもとでも、市民のくらしと、福祉、教育を優先する姿勢を明確にされ、それを、早急に具体化される必要があると考えます。私は、そうした観点から、市民のくらし、福祉に関する5つの項目について、市長のお考えを、率直に、お尋ねしたいと思います。

質問の第一は、子どもの医療費無料化を、現在の、小学3年生までの一部助成方式から、せめて、小学6年生までは、完全無料化にすべきだという問題についてです。

私は、少子化のもと、子育て世代の負担を軽減するため、医療費の無料化を、従来の小学3年生までの一部助成方式から、せめて、小学6年生までは、完全に無料化すべきだと考えています。となりの三次市では、新市長が、中学卒業まで一部助成方式による医療費無料化を決断され、今年度から実施することとなりましたが、市長は、この問題について、どのようにすべきだと考えておられるのか、明確な答弁を求めるものです。

質問の第二は、第2子、第3子の保育料の軽減の拡充についてです。

現在は、兄弟、姉妹が同時に保育所に入所している場合は、保育料が軽減され、該当するみなさんは、大変助かっておられます。

しかし、兄弟、姉妹が同時に入所していない場合は、同じように、第2子、第3子の保育所への入所であっても、保育料は軽減されないことになっています。

私は、以前にも、市長に、この問題を改善されるよう提案してきましたが、市長は、兄弟、姉妹が同時に入所していない場合は、第2子、第3子の保育料を軽減することはできないと、極めて冷たい態度をとってこられました。

しかし、保護者のみなさんの願いは切実なものがありません。

私は、少子化のもと、子育て世代の負担を軽減するため、兄弟、姉妹が同時に入所していない場合、第2子、第3子の場合、保育料の軽減をおこなうよう早急に再検討すべきだと考えますが、市長は、この問題について、どのようにすべきだとお考えなのか、明確な答弁を、改めて、求めるものです。

質問の第三は、多重債務者等に対する、生活再建の相談活動をもっと、もっと充実する必要があるという問題についてです。

私は、多重債務者等による、税金や保育料等の滞納にかかる問題を解決するため、深刻な実

情にあわせ、生活再建のための相談活動を、早急に充実すべきだと考えます。最近のNHKの特集番組で、盛岡市の全市をあげた相談活動を紹介していましたが、弱者の視点に立って市政をすすめると公約されている市長として、どのように対応しようとしておられるのか、改めて、明確な答弁を求めるものです。

質問の第四は、わずかな助成で、大きな仕事を生み出し、市民のみなさんからも、地元の大工さんなどからも喜ばれる、住宅、店舗のリフォーム助成制度の創設についてです。

三次市の新市長は、住宅、店舗のリフォームに、一件あたり、10万円を上限に、総額1千万円の範囲内で助成することを決断され、5月補正予算で予算化されました。

私は、このような、先進例は、十分に研究し、見習い、年度中途からでも、創設すべきだと考えていますが、市長のお考えを、再度、お尋ねいたします。

質問の第五は、小規模事業者登録制度の創設についてです。

これは、小規模事業者への支援策として、公共施設の小規模な修繕等を、事前に登録された小規模事業者におこなってもらおうというもので、実施されている自治体では、小規模事業者の仕事が増えたと、大変喜ばれています。

私は、こうした良い制度は、他市に見習って、早急に創設すべきだと考えますが、市長は、どのようにお考えか、改めて、明確な答弁を求め、私の質問といたします。